

食品廃棄物の再資源化事業(堆肥化事業) スタートアップ企業“ミライエ”に出資



創エネ

CVCの取組み

- 株式会社ミライエへの出資を通じて、プラント型堆肥化施設による「食品廃棄物の再資源化事業」に取り組みます。
- 有機物系廃棄物を堆肥化することで、廃棄物の減容・減量化や焼却処理によるCO₂削減、焼却施設の負担軽減に貢献します。
- 地域から排出される廃棄物を「堆肥」という形に再資源化し、農業や畜産業などの地場産業で有効活用することにより、地域の「循環型システム」を構築します。

◆ 出資概要

目的 ■ 廃棄物の課題解決/シナジー創出/展開性

当社は、これまで廃棄物の利活用方法として、メタン発酵により得られるバイオガスを燃料とした熱電供給事業を軸に検討を進めて参りました。一方、「堆肥化」も廃棄物の有効的な利活用方法の一つです。廃棄物の特性によっては、発電に必要な量のバイオガスが得られず、「発電」(および熱供給)という方法での事業化が難しい場合があります。当社は、そのような場合の代替案のひとつとして、ミライエとの連携を通じた「堆肥化」という利活用策も取り入れることとしました。さらに、「堆肥化」は、事業単体での取り組みだけでなく、まちづくりにおいて、地域の様々な取り組みと組み合わせられることや、当社が強みを持つエリアである東南アジアなどの海外においてもニーズがあることから、今後の展開性が期待されます。

◆ パートナー企業

企業名	株式会社ミライエ	
設立	1972年1月20日	
代表者	代表取締役 島田義久	
所在地	本社 〒690-0021 島根県松江市矢田町250-167	
事業内容	有機廃棄物処理装置の開発、販売 堆肥化施設等の設計業務 堆肥化技術の共同開発等	

◆ 新技術を用いた堆肥化事業

堆肥化は、古くから利用されてきた廃棄物処理の方法です。生ごみ、家畜ふん尿、下水汚泥などの廃棄物を好気的環境で発酵させ、微生物により分解させることで、堆肥という資源に変換することができます。本取り組みでは、下図のように、ミライエの通気システムが整備された堆肥化プラントを廃棄物の排出元に設置し、廃棄物を堆肥化します。

従来の堆肥化工程では、重機による切り返し作業(堆肥原料を攪拌する作業)が必要でしたが、ミライエの通気システムにより、満遍なく空気を行き渡らせることができ、切り返し作業が不要となるため、生産効率の向上が可能となります。

